

ICT ニュース 2022/12 月

2022/12/14 発行 ICT/感染管理委員会

塩野義製薬が開発した新型コロナウイルスの飲み薬「ゾコーバ」について、厚生労働省の専門家会議が使用を認め承認されました。重症化リスクの低い患者も軽症の段階から服用できるのが特長で、国内の製薬会社が開発した初めての飲み薬となります。「ゾコーバ」は、いわばインフルエンザの「タミフル」のように広く使えるイメージの飲み薬であり、12歳以上なら重症化リスクが低い人でも使えるということです。今後、厚労省は感染症法分類の5類相当を検討していくようです。



●「ゾコーバ効果」

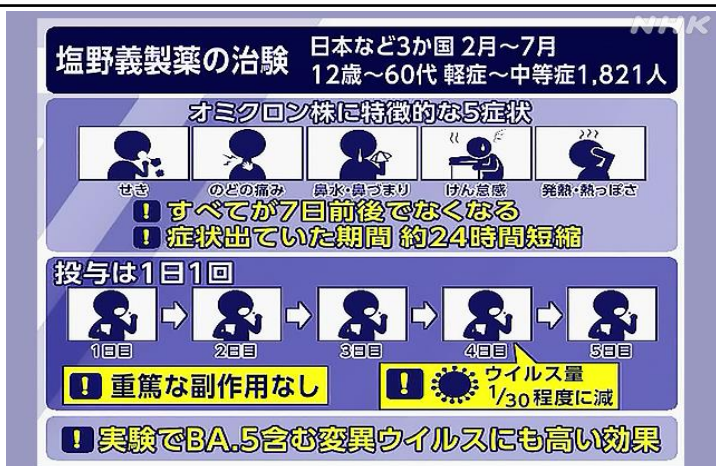
新型コロナウイルスは感染すると細胞内に侵入し、ウイルスそのもののRNAをコピーして増えていきますが、「ゾコーバ」はコピーの準備段階で働く酵素を機能なくすることでウイルスの増殖を抑えます。

●「ゾコーバ処方禁忌」

- ・腎機能又は肝機能障害のある患者でコルヒチンを投与中の患者の方
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある女性の方
- ・12歳未満の小児
- ・無症状の方など

●「5類相当に引き下げるとどうなる？」

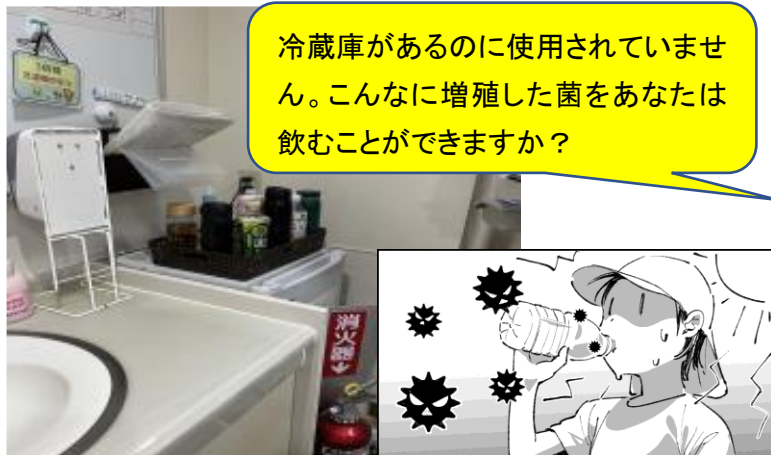
原則、感染症指定医療機関に限られている入院患者の受け入れが一般の医療機関でも対応可能になりますが、感染対策が不十分で実際には患者を受け入れることができない医療機関もあるのではと懸念されます。全額公費負担としている検査と入院治療費について、保険適用以外の費用が原則自己負担となるため、受診控えや感染発覚が遅れてしまうケースも懸念されますので、今後の国の方針に注視していく必要があります。



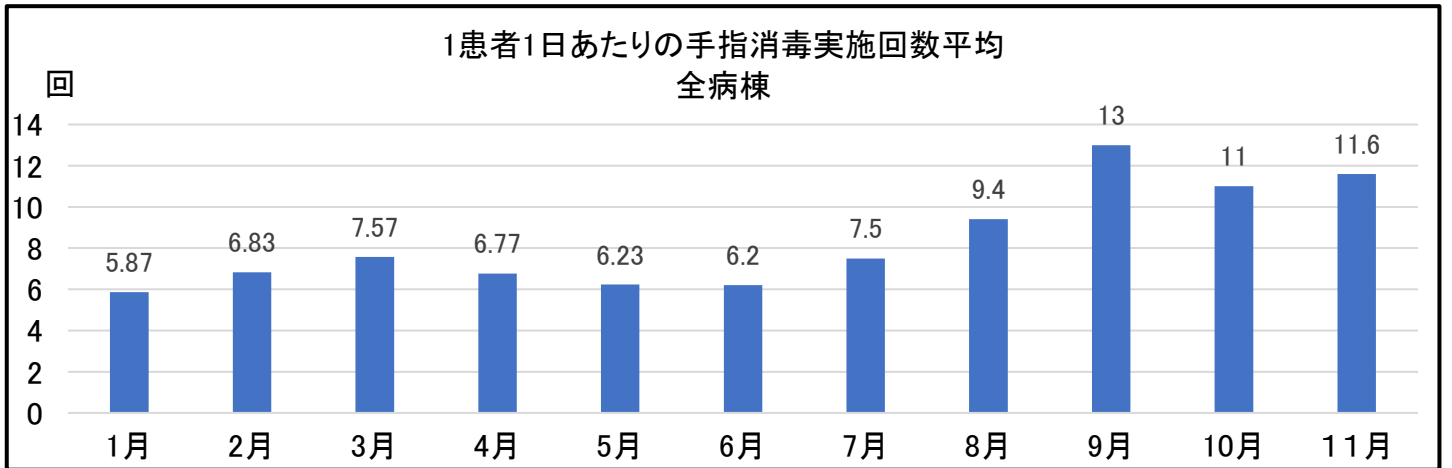
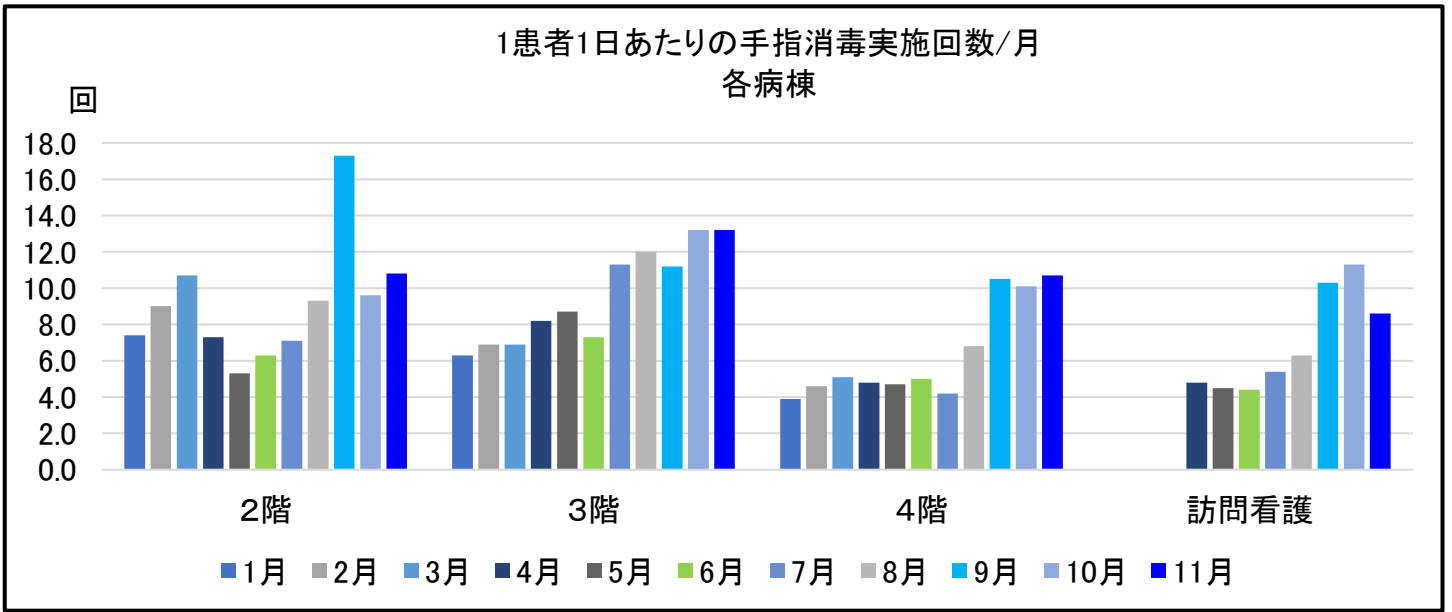
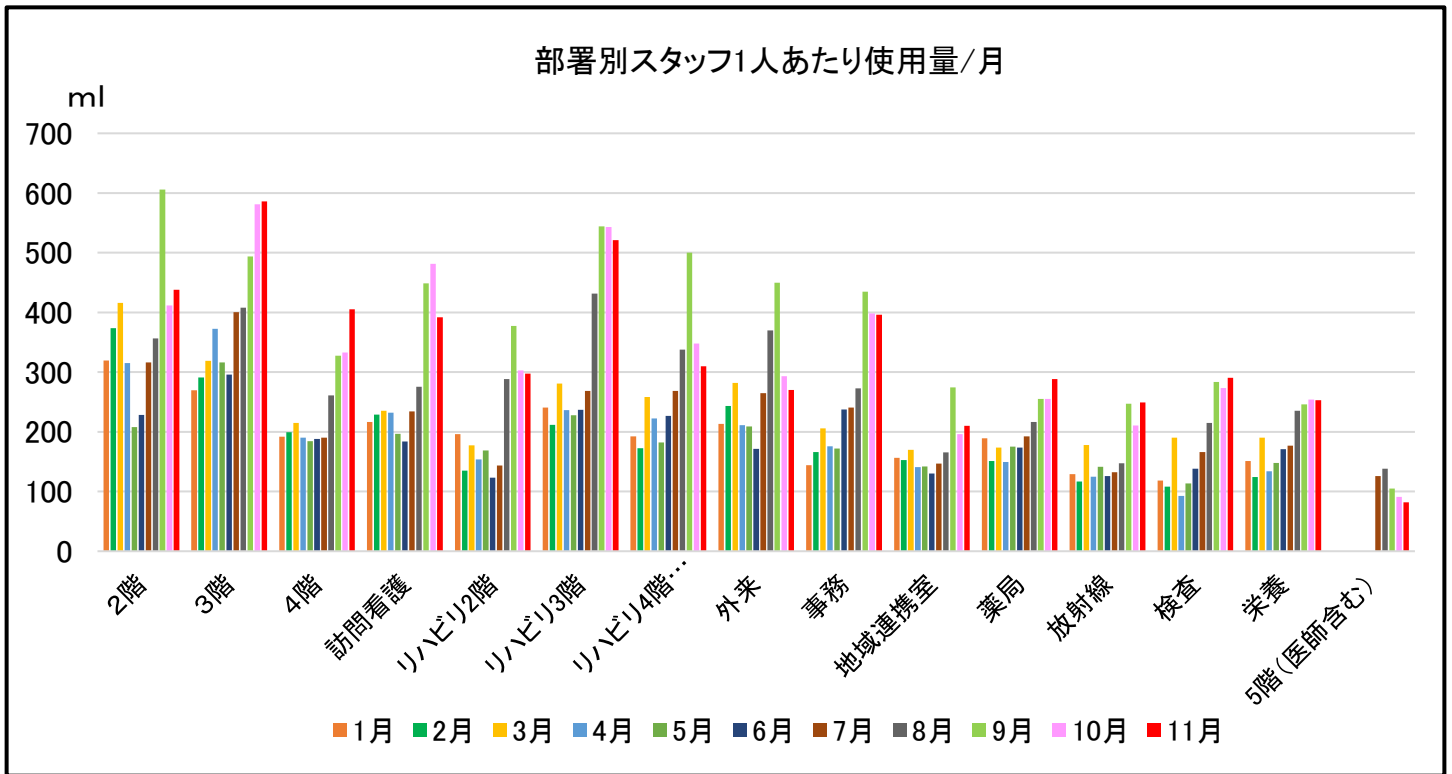
	2類相当 新型コロナなど	5類 インフルエンザなど
就業制限	○	—
入院勧告	○	—
外出自粛要請	○	—
受診・入院	指定された医療機関 <small>(※現在は感染対策とった一般医療機関も可)</small>	一般医療機関
検査・治療費	全額公費	一部自己負担

●すずかけグループ感染対策ラウンド報告

11月25日にセントラル病院と天竜すずかけ病院の感染管理担当者が、当院の感染ラウンドを実施してくださいました。その結果指摘事項は、ナースステーション内における「職員のペットボトル管理」です。



2022年 アルコール手指消毒剤使用量報告



★使用量の大きな増減はありませんでしたが感染者が増えています。引き続き対策をお願いします